令和５年度も、校長室から日頃の「雑感」をお届けいたします。昨年度は沢山の生徒の皆さんに校長室に来ていただきお話を伺うことができました。今年度も、感想や談話等の内容を掲載させていただく予定ですので、ご笑覧いただけましたら幸いです。

One for all, All for one.　No.53

R5. 7. 3　「研究授業Ⅱ」

今日は教育実習生の 遠藤 康介先生（天理大学４年生）の研究授業を参観させていただきました。単元はバスケットボールで、体育館全体を有効に活用しながら伸び伸びとした授業が展開されていました。

単元の目標も明確で、生徒にも趣旨をしっかり伝えた上で実技に入るなど、わかりやすく丁寧な教科指導がなされていました。また、実技指導では、生徒間を巡回しながら個々に合わせた適切な指導も窺われました。

ドリブル、パス、シュートから連動した動き、スペース作りと段階を踏んでステップアップさせていくあたりは、生徒にとっても大変やり易かったことでしょう。

落ち着いた雰囲気の中にも、生徒の活気を上手く引き出していく素晴らしい授業でありました。

One for all, All for one.　No.54

R5. 7. 6　「設営、最終準備」

「龍谷祭」を翌日に控え、どのクラスも最後の追い込みに入りました。初日は市民文化会館でクラス発表、二日目は一般公開となっており、文化部による発表会やクラス展示、模擬店など楽しい催しが沢山予定されています。

コロナ禍のため、在校生は誰一人として本来の龍谷祭を経験していません。試行錯誤を繰り返し、皆で協力し合い創り上げた学校祭だけに、楽しく忘れられない思い出になって欲しいと願っています。

授業後の連日の準備に生徒も少々疲れ気味ではありますが、元気回復に向けた有志によるパフォーマンス等も披露され、ボルテージも愈々上がってきました。

One for all, All for one.　No.55

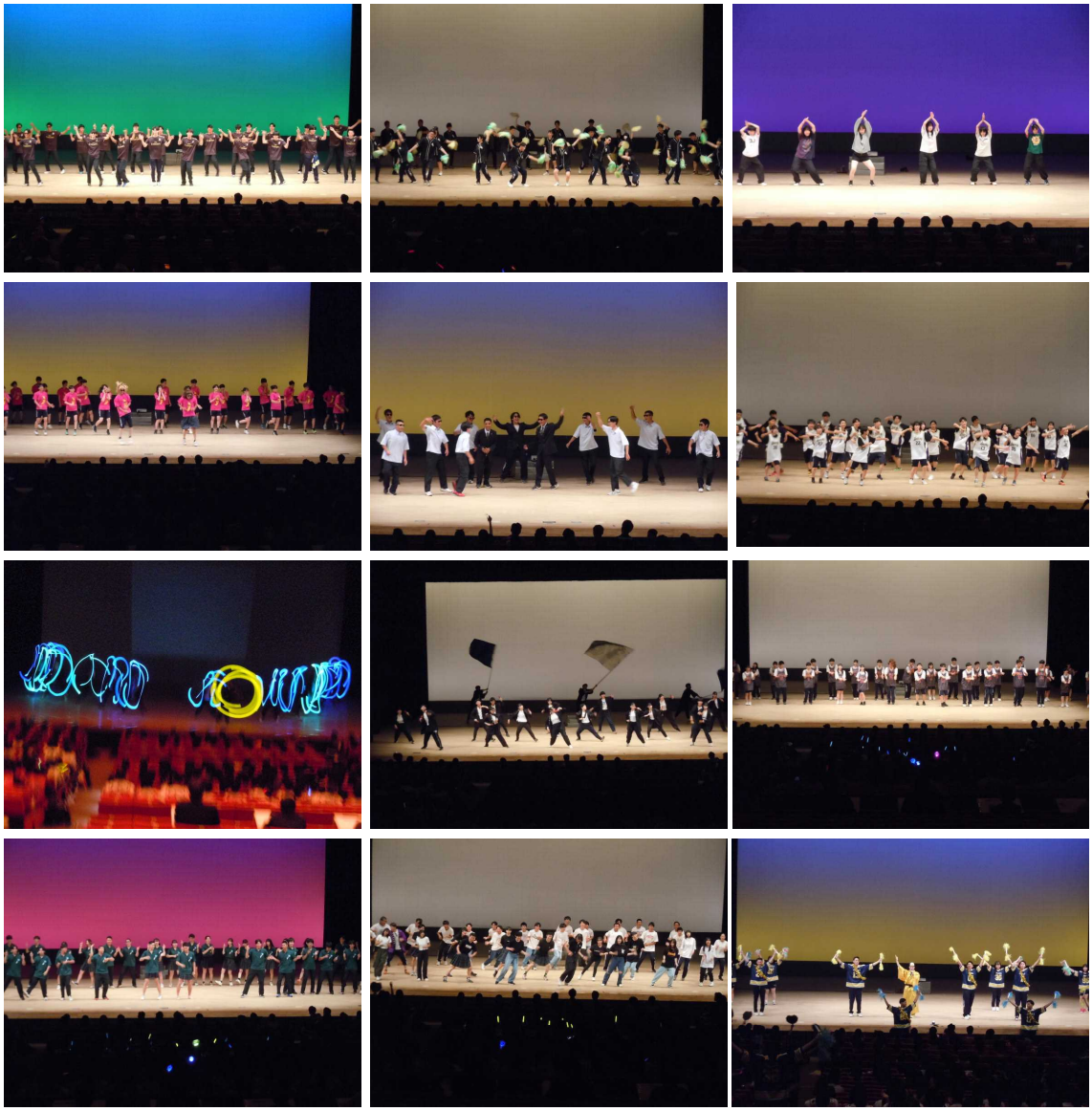
R5. 7. 7　「龍谷祭１日目」

コロナ禍で本格的な学校祭を経験したことのない生徒が試行錯誤を繰り返し、新校舎で初めてとなる「第 62 回龍谷祭」を開催しました。

１日目は市民文化会館をお借りし、各クラスによるステージ発表を行いました。ダンスが中心でしたが、「いつ練習したのだろう」と思わせる程どのクラスも見事なステージを

繰り広げてくれました。自分の出番以外は決められた席で他クラスの演技をしっかりと観賞し、かつ声援もおくっていました。何より素晴らしかったのは、まだ初々しい１年生の演技を上級生が手拍子や掛け声で盛り上げていたことです、学校祭の楽しい雰囲気を下級生にも味合わせてあげたいという心遣いに思わず胸が熱くなりました。

　音楽や振り付け、さらに趣向を凝らしたステージに時間を経つのも忘れてしまうほどでした。クラスによっては担任も同じコスチュームで参加しており、生徒に負けじと切れ切れのダンスを披露していました。



生徒同士が日頃の練習の成果を披露し、互いの努力を敬い讃え合う姿を終始見ることができ、改めて龍谷生の素晴らしい人間性に感動しました。

また、先輩が後輩に寄り添い、一緒になって学校祭を盛り上げようとする姿は本当に立派でしたし、特に最後の学校祭となる３年生の力が大きかったと思います。

One for all, All for one.　№56

R5. 7. 8　「龍谷祭２日目」

２日目は一般公開です。天候に恵まれたこともあり、予想を上回る方々にご来校いただきました。暑い中、足を運んでいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

この日は、生徒の創造力や表現力を生かしたクラス展示です。幅広い年代が楽しめるアトラクションやゲーム、縁日などが各階に並びました。

また、体育館では吹奏楽部、合唱部、書道部によるパフォーマンスが繰り広げられ、多くの来校者を魅了しました。文化部の活動の成果を展示した会場では、作品の出来栄えに

見入る人や心を癒された人も多かったことでしょう。

校舎前には 10 台以上のキッチンカーが並び、学校祭をさらに盛り上げます。校内では売店が祭典に合わせたメニューを提供するなど、校内外のイートインスペースを活用しながらコミュニケーションを一層深めていました。

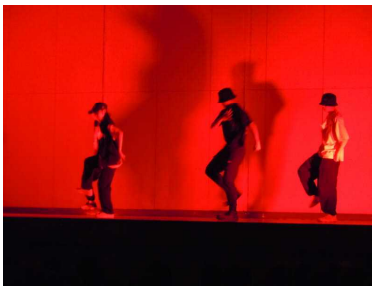
文化部の発表を一度に見聞きすることができるのも、やはり学校祭ならではの楽しみです。普段とは異なる特別な演出も施され、観衆を大いに沸かせました。

バリエーション豊かなキッチンカーも大賑わい。友人と校内外で飲食を楽しみました。

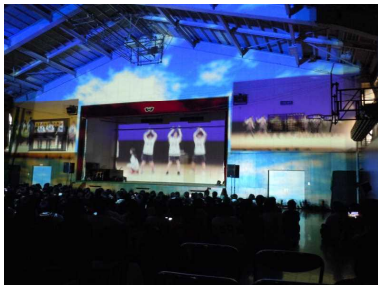
One for all, All for one.　№57

R5. 7. 8　「後夜祭」

あっという間の２日間もいよいよフィナーレを迎えました。後夜祭では、部活動によるパフォーマンス、美声ユニット、ダンスなどの素晴らしいステージに加え、教職員によるライブも披露され後夜祭をい大いに盛り上げました。



エンディングは、体育館の壁面を使ってのプロジェクションマッピング。クラス発表の練習風景、クラス展示の準備風景、学校祭当日の様子など、生徒たちの楽しそうな眩い笑顔が映し出されます。感動の余韻とともにまだ終わりたくないという名残惜しい声が体育館に響きわたりました。



ゼロからのスタートとなった新校舎での龍谷祭は、生徒一人一人が自分の役割を果たし、

皆で力を合わせ一生懸命に取り組んだ学校祭となりました。まさに「新時代～掴みとれ新たな伝統を～」のテーマに相応しい素晴らしい内容であったと思います。

保護者の皆様をはじめ、地域の皆様方には多大なるご理解とご協力をいただきました。この場をお借りし心より厚くお礼申し上げます。

One for all, All for one.　No.58

R5. 7.12　「合同企業説明会」

アートホテルを会場に開催された合同企業説明会に、３年生の就職希望者２０名が参加してきました。今年は道内６５社が一堂に会しての大イベントとなり、市内外から大勢の高校生が集いました。

生徒は興味関心のある企業を４社選び、それぞれのブースで詳しい説明を聞いてきました。就職は将来の夢や人生設計と密接に関わるものです。企業名だけで判断するのではなく、企業理念や業務内容、待遇などもしっかりと理解したうえで選択することが重要です。

また、一度で決めるのではなく、何度もこうした機会に参加する中で、最もやりがいのある仕事を見出して欲しいものです。

One for all, All for one.　No.59

R5. 7.19　「大学出前講義」

恒例の特進コース１，２年生を対象とした「大学出前講義」を５・６校時の時間帯で実施しました。

この取組は、大学の各分野における講義を直に体験し、大学の雰囲気や研究内容に触れることで、今後の進路目標の設定に役立て、その実現に向けた学習意欲を啓発することをねらいとしています。

今年度は、室蘭工業大学（理系分野）、小樽商科大学（文系分野）、北海道教育大学（教育系分野）、旭川医科大学（医療系分野）の４校から講師をお招きし、各大学の魅力ある講義を行っていただきました。

１４０名近い生徒は、興味・関心のある希望分野の講義に、終始真剣な眼差しで聞き入っていました。

大変お忙しい中、ご来校いただきました各大学の講師の皆様には心より感謝申し上げます。

One for all, All for one.　No.60

R5. 7.24　「仏参・全校集会・壮行会」

夏休みを前に全校集会を行いました。新年度からほぼ全ての教育活動がコロナ禍前の状態に戻り、生徒たちの表情にも一層活力が漲ります。

校舎移転から一年、「新生龍谷」の礎を築くために生徒と教職員が一丸となって邁進し

てきました。

新しい環境の中で勉学にも励み、春の進学実績では大きく躍進。また喫緊の話題では、柔道部と陸上競技部がインターハイに出場します。それ以外の部活動も全道大会で素晴らしい活躍を見せてくれました。

本校のモットーとする「高い次元の文武両道」を生徒たちは実現しています。

こうした生徒たちの活躍を全校生徒で共有したく、勝手に「龍谷新聞」なるものを作って配布しました。保護者の皆様にも是非生徒たちの活躍をご覧いただきたいと思います。

この夏休みが、全ての生徒にとって有意義な日々となることを心から願っています。